

鹿児島県バレーボール史

(戦後より15年)

南 貞 己

(2006年10月17日受理)

The History of Volleyball in Kagoshima Prefecture (15 years post-war)

MINAMI Sadami

要 約

戦後15年の鹿児島県バレーボールの歴史を新聞の記事を基にして調べたものである。昭和21年の6月にいち早くバレーボール協会を設立し、バレーボールの指導普及に着手したことは立派である。

昭和26年に機関紙「バレーかごしま」を発刊し、昭和29年には住友金属を招いて技術講習会を開いている。成績面では、国民体育大会で、昭和22年には鹿屋中学校が中等学校男子の部で優勝という偉業を成し遂げ、昭和21年には一高女が中等学校女子の部、昭和23年には鹿屋高校が高校男子の部で準優勝している。試合会場は鴨池の陸上競技場や学校の校庭であったが、昭和23年にバレーボール専用コートとして鹿児島市営中央公園ができています。昭和29年には、玉竜高校体育館、31年には照国高校体育館が出来、雨天時、冬季の大会開催を可能にしている。昭和29年には県民体育大会に婦人の部が設けられ、昭和33年には六人制の大会が始まっている。

キーワード：事項，大会，成績，大会会場

はじめに

戦後より15年の試合の記録を基にして、鹿児島県バレーボールの発展と普及の歴史を見ようとするものである。手元にある資料を基に概略を記すことにより正確な、より詳しい鹿児島県バレーボール史を作る第一歩としたものである。なお文中の、○は県大会、◎は九州大会（対県試合も含む）●は全国大会（西日本大会を含む）を示す。

昭和21年

鹿児島対熊本の両県教職員の陸上競技と排籠球競技会が戦後初の大会である。6月に排球聯盟が生まれている。国民体育大会が開催され、西部予選会に男子中等部で県代表として志布志と鹿屋の

二校が出場している。国民体育大会では一高女が準優勝している。

- 戦後初めてのバレーボールについての新聞記事は5月25日に見出す。人吉市における鹿児島・熊本両県教職員の陸上競技と排籠球競技会の予想の中である。排球について次のように予想している。

第二日目の排球戦は鹿軍の川野（女子興業）麓川（大口高女）福田（田上校）らの巧妙なトリオで一もみにしようと虎視眈々と熊本軍の顔ぶれの偵察も終わり、熊本軍がどんな巧みな作戦できょうともむらのない鹿軍の守備陣は微動だにすまいとの観測もある。

結果は5月26日に次のように掲載されている。排球戦は鹿軍が好調な作戦で前半21対15、後半21対14とワンサイドゲームで大勝した。

- 鹿県排球聯盟生る（6月4日の南日本新聞）

スポーツ勃興の波に乗ってバレー再建向上を期することになり、かねて鹿児島県排球聯盟の準備が進められていたが、このほど代表者が集まって規約の制定とこれが新陣容を次の通り決定。今後役員が街頭に飛び出して指導にあたるなど協力して健全な排球の普及発達に乗出すことになった。聯盟の組織は、一般部、専門学校部、中等学校部、国民学校部の四部とし、当分事務所を県立一高女内に置いて聯盟の加入を受けるとともに用具や球の配給は全て同連盟を通して加盟団体に配給が行われることになっている。

排球聯盟役員	会 長	吉岡 清（鹿高女教）	副会長	水流 国彦（医専教授）
原田 福吉（一高女教諭）	理事（常任）	川野 敏男（女子興業教諭）	福田 茂（田上校訓導）	
永山 友秀（鹿屋中教諭）		麓川 利勝（大口高女教諭）	福島 武文（平佐西校訓）	
田ノ上 三女（州崎校訓）		濱田 一（医 専 生）	加治屋 興市（南日本新聞）	

- 鹿市の教員排球大会（6月21日 鴨池グラウンド）

- ・ A組 準決勝 田上校 2－0 中洲校
武 校 2－1 男子附

決 勝 田上校 2 (21－14, 21－7) 0 武 校

- ・ B組 決 勝 田 上 2－0 吉野校

- 国民体育大会予選（9月22日 一高女）

- ・ 一般男子 決勝 教 職 員 チ ー ム 2 (21－12, 21－8) 0 一中〇B
- ・ 一般女子 決勝 一・二中卒業チーム 2 (21－1, 21－11) 0 すみれ会
- ・ 男子中学 決勝 志 布 志 中 2 (21－14, 12－21, 21－17) 1 大 口 中

- 国民体育大会西部予選会（10月12日～13日 西宮球場）

一高女がこの予選会で一宮女子高とともに西日本代表になっている。10月16日の新聞に「国民体育大会女子中学校排球西日本予選大会に出場した一高女チームは、各県代表を堂々撃破して一宮女子農業校とともに西代表として出場権を得た。」と記してある。この大会の男子中学校の部に鹿児島県代表として志布志中学と県予選会に出場しなかった鹿屋中学が参加している。鹿屋中学がどう

して参加できたかは謎である。予選会を本大会と勘違いされているが両中学の選手は次のように述べている。

戦後初の全国大会 EL 清水雅士（串間市）

監督もコーチもない中で誕生したバレー部は団結だけは良く、練習相手は女学校や先生方だった。バレー好きの川崎先生から、県大会に出ないかと聞かれた。「出ちみろかい」という軽い気持ちで出場した。鹿児島一中のグラウンドで、手作りのユニホームと裸足だった。決勝ではFR蓑方君の攻撃が冴えて優勝した。優勝して全国大会出場の気分に酔い痴れている時、鹿屋中から試合の申し込みを受けた。こちらは単に練習相手と考えていたが、鹿屋中は基本練習に忠実で、力もあり2-1で負けてしまった。

その後が遽しくなった。優勝チームに勝ったから全国大会に出る資格があると県協会に申し出たらしい。県大会に出場していないで何故か、今でも不思議である。「県協会も大変困っている」と川崎先生から聞かされた。結局鹿児島県は二校出場が決着した。全国大会当日は雨で京都の学校の体育館だった。屋外コートばかりで練習していた私達は初めての体育館で勝手が違い、トスは乱れ攻撃もちぐはぐで、空振りやオーバーネットのミスも出て、伝統校広島二中に2-0で惨敗を喫した。広島二中はこの大会で優勝した。全国大会にこのような形で一県から二校出場したのは、戦後第一回であり、規則も組織も未完成のまま実施されたのであろうと、今は考えている。

鹿屋中の伊藤 祐風さんは [My Haiku in My life] に次のように述べている。

前文略

この年は、国体の県予選大会は2回あることになっており、正式の予選は、後期の方の日程だと聞いていたので、そのつもりでチームメイトも納得していた。そして第一回の県大会は予定通り実施され、志布志中学校の優勝が報じられたが、我々は後期大会を期しており、動揺はなかった。さて、ところがである。

我々が唯一の目標としていた、後期の方の予選、すなわち正式たるべき国体の県予選大会が、なぜか突然とりやめになったとの連絡が入ったのである。しかも国体出場の推薦校は、前回優勝校の志布志中学校に改めて決定したというのだ。何たることか、「我々は断じて承服しがたい。」部員の中からも猛然たる反発が起こった。この事態には、永山先生自身もただ呆然とされるのみであった。学園内でも、生徒会などで俄然議論が噴出し、熱血漢奥村君などは、参加させるためには、ストも辞さないという意気込みであった。職員会議なども開かれるなかで、“「鹿屋中学」としては、早急に「志布志中学」に試合を申し入れ、その結果を見て”という結論に達していた。我々はある日曜日を選んで、志布志中学まで遠征した。結果は、セットカウント2対1で我々「鹿屋中学」が「志布志中学」に勝ち、意気揚々と引き上げてきたのであった。(略)ところで、勝って帰った我々のチームには、まだ国体出場への関門は開かれなかった。私と三上君が校長室へ呼ばれた。目の前

には交友会費の残高が示されていた。確か800円くらいあったと記憶する。(当時、バレーボール1個の値段が400円程度であった。)これでは誰が見ても国体参加予算どころではない。私は脇の下に冷たい汗がにじみ出るのを今も覚えている。学園内では緊急資金のカンパが行われ、全校生徒より、資金はもちろん、米、玉子なども集められた。一職員会議としては、漸くにして再度、志布志中学の選手を我が校までを招待し、その試合結果によって、国体参加の申請を行うという最終案にまで達していた。

いよいよ最終決戦である。我々は、戦時中からある武器庫の前の唯一のバレーボールコートを整備し、破れかけた僅か1個のバレーボールを磨いて、志布志チームの到来を待った。この1個のバレーボールといっても、みかけばかりの固いボールで、実のところはサッカーボールであった。というのは、以前からのバレーボールは、もはや全部破れ果てて破棄せざるを得ず、たまたま、相田茂君(検見崎君)の個人所有のサッカーボールを急遽借用して、練習に使用していたという今では到底考えられない絶対絶命の状況にあったのである。

さて、試合はセットカウント2対0で、全校生徒・職員の見守る前での快勝であった。これで、いよいよ国体参加は現実のものとなった。県バレーボール協会は、この状況を有態に認め、志布志・鹿屋の両校を県代表として推薦したのである。

我々の士気は、いやが上に盛り上がった。ところが、いま一つ困った問題が持ち上がった。いよいよ明日は出発という日の朝になっても、肝心の国体当局から、「参加受け付けた」との連絡がないのである。部員一同、当然ながら朝から浮かぬ顔で、何も手に付かない有様である。

私と浜田君は、朝一番かの授業からひそかに抜け出して、鹿児島市に向かった。県バレーボール協会に詰めかけて「参加受付」の返事をもらうためである。しかし午後3時頃になっても何の音沙汰なし。私達2人は、加治屋町にあった当時の一高女の廊下で待ちあぐねていた。協会の理事は原田先生だったが、幾度か気の毒そうにして私達の方を流し目で見え通られたが、よい返事を聞くことはできなかった。遂に、「万事休す」か、と私と浜田君は腰を上げてチームメイトの待つ鹿屋中学へ帰らざるを得ない時刻となってしまった。

暮色せまる母校のコートの前には、竹下君、小田君、その他の面々が沈痛な表情で集まっていた。はや日暮れである。私達が持ちかえった絶望的な返事で、一同はもう話す力を失っていた。

そこへ突如永山先生と伊地知先生が、職員室の方から小躍りするようにして走り出てこられた。一瞬、何がどうなったのか信ずることができなかった、「やったぞ!遂に職員会議の方は、受付の連絡はなくても参加決定で決着したんだ!!」

恐らくみな同じ気持ちであったに違いない。私はこの瞬間の、あの薄暗い武器庫の前の、チームメイト達のむしろ放心したような姿をいまだに忘れることができないのである。

なお女子については、10月16日の新聞に「国民体育大会女子中等学校排球西日本予選大会に出場した一高女チームは、各県代表を堂々撃破して一宮女子農業校とともに西代表として出場権を獲得した。」と記してある。

- 国民体育大会（兼日本選手権大会）（10月31日～11月3日 西宮体育館）
 - ・ 中学校女子 準決勝 鹿児島一高女 2 (25-23, 21-14) 0 東京一女
 決勝 鹿児島一高女 0 (15-21, 15-21) 2 一宮農女 【準優勝】
- 女子中等学校排球大会（11月22日 鴨池運動場）
 - 準決勝 二高女 2-1 川辺女 一高女 2-1 加世田女 決勝 二高女 2-0 一高女
- 学童排球大会（11月23日 鴨池運動場）
 - ・ 初等女子 準決勝 大口 2-0 武 伊集院 2-1 西田 決勝 大口 2-0 伊集院
 - ・ 初等男子 決勝 八幡 2-0 中洲
- ◎ 鹿宮対県対抗（11月14日 宮崎）
 - 鹿児島 0 (14-21, 17-21, 20-22) 3 宮崎

昭和22年

国民体育大会で、中学校男子で鹿屋中学校が優勝、一般女子で山形屋が三位になっている。二高女が西日本女子中等学校大会で優勝している。南九州四県対抗大会が始まり鹿児島が四種別とも優勝している。

- 実業団大会（5月4日 鴨池）
 - ・ 男子決勝 霧島病院 2-0 鹿児島県庁
 - ・ 女子決勝 山形屋 2-0 日銀
- 西日本実業団大会（6月1日 西宮）
 - ・ 女子の部 <三位決定戦> 山形屋 2-1 木島炭鉱（佐賀）
- ◎ 南九州四県対抗大会予選（7月19日～20日 市高女）
 - ・ 一般男子 準決勝 一中OB 2-1 指中職 市教 2-0 城南職
 決勝 一中OB 2-1 市教
 - ・ 一般女子 三位決定 県庁 2-1 黒潮
 決勝 山形屋 2-0 枕崎女子青年
 - ・ 中学校男子 準決勝 鹿屋中 2-0 鹿商 二中 2-0
 決勝 鹿屋中 2-0 二中
 - ・ 女子 準決勝 女興 2-1 伊佐
 二高女 2-1 川辺女
 決勝 女興 2-1 二高女
- ◎ 南九州四県対抗大会（7月27日 鹿児島市立高女）
 - 試合順位
 - ・ 一般男子 鹿児島【優勝】 熊本 宮崎 大分
 - ・ 一般女子 鹿児島【優勝】 宮崎 大分
 - ・ 中学校男子 鹿児島【優勝】 大分 宮崎 熊本
 - ・ 中学校女子 鹿児島【優勝】 宮崎 大分 熊本
- 全日本総合選手権大会（8月28日～31日 都立三商及び濱松コート）
 - ・ 女子の部 一回戦 山形屋 2-0 土紀女ク（山陽） 二回戦 山形屋（不戦勝）日鉄八幡（北九州）
 準々決勝 山形屋 0-2 鐘紡淀川（近畿）

○ 国民体育大会予選 (9月13日, 14日, 21日 鹿児島市立高女)

・一般男子 準決勝 加治木中OB 2-0 七高 一中OB 2-0 西桜島青年団

・一般女子 準決勝 県庁 2-1 鹿病 山形屋 2-0 成美

決勝 一中OB 2-0 加治木中OB

決勝 山形屋 2-0 県庁

・中学校男子 準決勝 鹿屋中 2-0 一中 二中 2-1 市立中

・中学校女子 準決勝 川内女 2-1 伊作女 大口女 2-1 加世田女

決勝 鹿屋中 2-0 二中

決勝 川内女 2-1 大口女

・教職員郡市対抗 男子 一位 鹿児島市 二位 指宿郡 女子 一位 川辺郡 二位 日置郡

● 西日本女子中等学校大会 鹿二高女優勝 (10月15日の南日本新聞)

西日本女子中等学校バレーボール大会はこのほど福岡市で行われたが、鹿児島県立二高女は準優勝戦で勝山高女を、優勝戦では門司高女をいずれもストレートでやぶって堂々優勝した。

● 国民体育大会 (10月30日より5日間 金沢市, 金沢女専コート)

・中学校男子 一回戦 鹿屋中 2-0 福井中 二回戦 鹿屋中 2-0 神戸中

三回戦 鹿屋中 2-0 愛媛新田中 準々決勝 鹿屋中 2-0 広島三原中

準決勝 鹿屋中 2-0 山口中

決勝 鹿屋中 2(21-19, 21-18) 0 三池中 (福岡)

鹿屋中学校優勝 永山監督は昭和25年県バレーボール協会発行の「バレーかごしま」に優勝の栄冠を獲得するまでの一ヵ年の経過と大会の様様を次のように述べている。

鹿屋チームは何故勝てたか 永山友秀

(前文略)

昭和二十一年十月第一回国体西部予選会に出場し、第二回戦で敗れて以来、来年こそはと、十一月一日準備に取りかかる。先ず、「好きこそ物の上手なれ」の言葉の通り、生徒の希望に沿ったスポーツ、趣味に合ったスポーツなら実行を阻止することができないのである。このような考へからして希望者の中から次の条件を有する者を選出する。一、成績三分の一以上にある者 二、身体健全にして身長に秀れる者 三、品性上位にある者 四、陸上競技特にランナーとして経験ある者 右の条件を考慮して、前衛上窪、春山、竹下、鳥取、中衛岩元、村田、小田、栗脇、後衛岩元智、森園、新福、今井の拾二名を選び、課外練習一時間を限定とし、本格的練習を開始する。晴天時は屋外、雨天時は屋内としバレーの生活化を目標にして、毎日練習をする。総ては熱心に依つて目的が達せられるので、余り熱しすぎると又早く冷め易いので、練習は細く続けてこそ実力もつき、成功を見出す事が出来るのである。特に、冬期練習こそ基本練習には効果が多いので、この期間中に猛球タッチ、猛球キルを目指し後衛カバー、全員の猛球サーブ、特に上窪君の左手猛球タッチに重点を置き、練習を十分に重ね続いて総合練習の約一時間を組織的な練習を継続したのである。この練習法によつて技術の上達は日々に深まり、四月頃には高度の進歩を示した。これは鹿屋地域

のオールチームとゲームを行って、カウントが立証したのである。一、二月までは各セット十五、六点肉迫されていたが、四月以来はゲームの都度十点以下に圧迫し、いよいよ自信を深め、六月県下中等学校バレー大会においても、優勝戦迄、ほとんど十点以下に圧迫し、想像通り易々優勝したのである。続いて、七月南九州バレー大会に於いて優勝し、九州での自信を得た。

次は九月の第二回国体予選を目標に夏期休暇を中間に一週間休み前後の期間中猛練習を重ねる。九月下旬の予選会に参加、二十余校のチームも六月大会の成績に優れる共おとらぬ実力を以って優勝し、国体出場権を獲得する。選手一同は県代表の誇りと、責任の重大さを感じ、更に全国制覇を目指し猛練習を積む。

十月中旬県吉岡会長、原田副会長、川野理事、伊地知教官等の御来校を願い、御指導を賜り、選手一同感激し制覇を誓う、この間校長以下職員生徒、同窓生、父兄一般の方々の御協力によって出場準備全て整い、二十五日県代表六十余名のバレーマン一行は保岡副知事の激励の言葉を戴き鹿児島本駅より大会競技場へと向かう。

第二回国体バレーボール競技男子中等学校の部は四十六都道府県全部参加といふ未曾有の盛会で、時は、十月三十日から十一月一日まで三日間、所は金澤の地で熱戦美技が展開された。第一回戦から第五回戦の準決勝戦まで、各セット十五点以下で軽く圧し、十一月一日優勝戦、米子工を破った三池中で猛キルの単一戦法で肉迫、一セット二―一―九、二セット二―一―八、結局ゲームセット二―〇、鹿屋の優勝となった。三池中はよく粘って来たがフェント戦法の濫用と単一戦法に集中し敗退す。鹿屋チームは複雑戦法を取り前衛三名の攻撃と中衛両サイドのキラーと合し、五名の攻撃を持ち、然かも攻撃に於いては、タッチ、キルの使ひ分けを三―二の割合でタッチに重点を置き、中でも上窪君の左手最猛球タッチを主に用いる事にした。更に二段戦（二回目のタッチ）を前衛中の竹下君が適宜に折込み、全面的な攻撃に力を注ぐ、然しこれ等の攻撃もパスの中心はバックにあって、良きバックを得て始めて目的が達せられるのである。更に全員のサーブ、レシーブ、チームワーク等共に優れることによって最後の栄冠を獲得したのである。

鹿屋の優勝にせよ、岡崎の優勝にせよ、前衛右に左手最猛球タッチを有することが、如何に強味があるかということが、このゲームを見て痛感されたのである。

最後に如何なるチームにせよ、良き指導者を得、然かも指導者の熱意こそ、勝利へ導きられるものと信ずる。

- ・中等学校女子 一回戦 川内女 2-0 秋田大田女 二回戦 川内女 0-2 高松女
- ・一般女子【三位】二回戦 山形屋 2-0 全鳥取 三回戦 山形屋 2-0 桜花医（奈良）
- 準々決勝 山形屋 2-0 松南ク（長野）
- 準決勝 山形屋 0-2 札幌一女ク（北海道）
- ・教員 二回戦 鹿児島 2-0 仙台 三回戦 鹿児島 0-2 福岡

昭和23年

国民体育大会で鹿屋高校が準優勝している。第一回九州高校大会が開催され、男女とも優勝している。年末に中央公園コートが出来、県選手権大会も始まっている。

○ 第二回実業団大会(4月25日 市高女)

・男子決勝 山形屋2-0県庁A 3位 電話局 4位 興銀

○ 南九州四県対抗予選

・新制高校女子(6月27~28日 旧一高女)

準決勝 旧二高女2-1旧指宿高女 決勝 旧女子興業2-1旧二高女

旧女子興業2-1旧加世田高女

*女子興業・市二部(鹿児島女子高) 市三部(鹿商) 市一部(玉竜)

二高女・県四部(甲南) 一高女・県五部(鶴丸) 興銀(鹿銀)

・新制高校男子(6月29日 旧市高女) 決勝 鹿屋高校2-0県立鹿児島高校五部

・教職員(7月3日 旧市立高女) リーグ戦 1位 鹿児島市A 2位 鹿児島郡

・一般男子 準決勝 山形屋2-0工機部 決勝 山形屋2-1加中OB

加中OB2-0学生ク

・一般女子 リーグ戦 1位 山形屋 2位 県庁

◎ 南九州四県対抗大会(7月27日 宮崎市営グラウンド)

・高校男子【優勝】鹿屋2-0別府第一 鹿屋2-0済々饗 鹿屋2-0飢肥高校

・高校女子【3位】旧女子興業2-0大分一高 旧女子興業0-2大淀高校

旧女子興業0-2熊本女子高校

・教師団【優勝】鹿教師団2-1玉名教師団 鹿教師団2-0都城教師団

・一般男子【準優勝】山形屋2-1旭化成 山形屋1-2別府同好会

・一般女子【優勝】山形屋2-0旭化成 山形屋2-0別府電話局

◎ 第一回九州高校大会(8月22日 別府)

・男子【優勝】鹿屋2(21-23, 21-19, 21-17)1三池

・女子【優勝】鹿児島(旧一, 二高女)2(13-21, 21-14, 21-19)1宮崎高

○ 国民体育大会予選(第二回県民体育大会)(9月23~25日 鴨池)

・新制高校男子 準決勝 県高四, 五部2-1市高一部 鹿屋2-0市高三部

決勝 鹿屋2-1県四, 五部

・新制高校女子 準決勝 市高二2-0加世田 県高2-0指宿

決勝 県高2-1市高二

・一般男子 準決勝 工機部2-1紫明ク 加中OB2-0鹿高ク

決勝 加中OB2-0工機部

・教員男子 準決勝 指宿2-0竹岡ク 鹿市同好会2-0川内市

決 勝 鹿市同好会 2-1 指 宿

- ・教員女子 リーグ戦 1位 川辺郡 2位 肝属郡 指宿郡
- ・一般女子 決 勝 山形屋 2 (19-21, 21-15, 21-18) 1 立神
- 国民体育大会 (10月29日～11月5日 久留米昭和女, 香椎両コート)
 - ・高校男子 【準優勝】 二回戦 鹿屋 2-0 下関高 三回戦 鹿屋 2-0 神戸高(三重)
準々決勝 鹿屋 2-0 高津高(大阪) 準決勝 鹿屋 2-0 西尾高(愛知)
決 勝 鹿屋 1 (10-21, 21-10, 18-21) 2 葦山高(静岡)
 - ・高校女子 一回戦 鹿児島高 2-0 平田高(島根) 二回戦 鹿児島高 2-1 児島高(岡山)
三回戦 鹿児島高 0-2 久喜高(埼玉)
 - ・教員男子 二回戦 鹿児島同好会 1-2 香川教員
 - ・一般男子 一回戦 鹿児島クラブ 1-2 帝人岩国
 - ・一般女子 二回戦 山形屋 2-1 横浜ク
準々決勝 山形屋 0-2 北海道ドレスメーカー
- 第一回県選手権大会 (12月5日 中央公園コート)
 - ・男子 準決勝 一中ク 2-0 鹿市同好会 鹿屋ク 2-0 興 経 ク
決 勝 一中ク 2-1 鹿 屋 ク
 - ・女子 準決勝 県 高 2-0 出水二部
鹿市二部 2-1 県 庁
決 勝 県 高 2-1 鹿市二部

昭和24年

バレーボール祭が始まっている。国民体育大会九州ブロック予選で一般男女が代表権を得ている。

- 実業団予選 (4月24日 市営中央公園コート)
 - ・男子 準決勝 工機部 2-0 興 銀 山形屋 2-1 九 配
決 勝 工機部 2-0 山形屋
 - ・女子 準決勝 山形屋 2-0 霧 島
九 配 2-0 電話局
決 勝 山形屋 2-0 九 配
- バレーボール祭 (5月5日 中央公園)
 - ・男子 準決勝 一中OB 2-0 市 教 工機部 2-1 立 神
決 勝 一中OB 2-0 工機部
 - ・女子 準決勝 九 配(不戦勝)
立 神 2-0 市二部
決 勝 立 神 2-0 九 配
 - ・中学男子 準決勝 城 西 2-0 谷山北 長 田 2-0 谷 山
 - ・女子 決 勝 城 西 2-0 武中A
- 第二回鹿児島県選手権大会 (5月22日 中央公園)
 - ・男子 準決勝 鹿屋 高 2-0 興 銀 一中OB 2-0 市三部
決 勝 一中OB 2-0 工機部
 - ・女子 決勝リーグ 山形屋 2-0 甲 南
山形屋 2-0 市二部
優勝 山形屋 市二部 2-0 甲 南

- 全日本大会予選 (6月4日 中央公園)
- ・男子 決勝リーグ 山形屋1-2バ同好 バ同好2-1九配 九配2-0山形屋
優勝 バレー同好会
 - ・女子 決勝リーグ 優勝 山形屋
 - ・男子高校 準決勝 市一部2-0鶴丸 鹿屋2-0加工 決勝 鹿屋2-0市一部
 - ・女子 ABゾーンリーグ 決勝 市二部2-0甲南
- ◎ 南九州選手権大会 (7月3日 熊本市尚 高校)
- ・教職員 鹿児島クラブ2-0玉名教員
 - ・一般男子 鹿児島クラブ2-1熊本同好会
 - ・一般女子 山形屋2-1熊本製紙
 - ・高校男子 鹿屋高校2-1八代高校
 - ・高校女子 鹿市高二部0-2熊本第一高校
- 全日本総合選手権大会 (7月26日~31日 田園コロシウム, 都立高校)
- ・男子 一回戦 九州配電2-1千葉医大 二回戦 九州配電0-2紅陵ク(西中国)
 - ・女子 二回戦 山形屋2-1夢野台高(兵庫)
準々決勝 山形屋1-2対倉紡万寿(東中国)
- ◎ 第二回九州高校大会 (8月1日 佐賀高校)
- ・男子 鹿屋2-1佐賀高 鹿屋1-2国賀 三位決定 鹿屋2-1因賀高(長崎)
 - ・女子 鹿児島二部2-1島原 鹿児島二部2-0佐賀 決勝 鹿児島二部0-2熊本第一
- 国民体育大会予選 (一般: 9月11日 天保山中学, 高校: 9月26日 中央公園)
- ・一般男子 準決勝 九配2-1興銀 高商C2-1錦江ク 決勝 高商C2-1九配
 - ・一般女子 リーグ戦 1位 山形屋 2位 県庁
 - ・高校男子 準決勝 鹿市一部2-0鶴丸 鹿屋高2-0甲南 決勝 鹿屋高2-0鹿市一部
 - ・高校女子 準決勝 川辺2-1鶴丸 鹿市二部2-1甲南 決勝 鹿市二部2-0川辺
- ◎ 九州ブロック国体予選 (9月24, 25日 鹿児島市中央公園)
- ・一般男子 リーグ 高商ク2-0熊本 高商ク2-0佐賀 決勝 高商ク2-1長崎SSK
 - ・一般女子 リーグ 山形屋2-0佐賀 山形屋2-0宮崎 決勝 山形屋2-0片倉製紙
- 国民体育大会 (10月31日~11月3日 横浜市三ツ沢)
- ・男子高校 二回戦 鹿屋高0-2松江高
 - ・高校女子 二回戦 鹿市高1-2山形四高
 - ・一般男子 一回戦 高商ク1-2三井造船
 - ・一般女子 一回戦 山形屋0-2北海道
- 第三回鹿児島県選手権大会 (11月20日 中央公園)
- ・男子 準決勝 鹿屋ク2-0一中ク
 - ・女子 リーグ戦で決勝進出2チームを決定

- ・高校女子 準決勝 鹿商高2-0加治木高
- ・高校男子 記録なし
- 甲南高2-1鶴丸高
- 国民体育大会には鹿屋高校が出場している。
- 決 勝 鹿商高2-1甲南高

● 国民体育大会(10月28日~11月3日 名古屋市)

- ・高校女子 一回戦 鹿商高1-2南徳学園(千葉)
- ・高校男子 二回戦 鹿屋高2-1大 淀
- 三回戦 鹿屋高0-2葦山(静岡)

昭和26年

九州高校大会で男女とも優勝している。国民体育大会高校男子の部でトラブルが起きている。県下中学都市対抗大会が始まっている。

○ バレーボール祭(5月5日 中央公園)

- ・中学男子 決勝 城西中2-1甲東中
- ・中学女子 決勝 城西中2-1清水中
- ・高校男子 決勝 甲南高2-1鹿屋高
- ・高校女子 決勝 国分高2-1鹿商高

○ 鹿兒島県選手権大会(5月20日 鶴丸高)

- ・男子 A級決勝 西鹿兒島工場2-0一中ク
- B級決勝 市庁2-0川内商工
- ・女子 A級決勝 山形屋2-0国分高
- B級リーグ 1位伊集院 2位鹿兒島 3位市来

○ 全日本高校選手権予選(6月3日 中央公園)

- ・男子 準決勝 鹿屋高2-0玉竜高
- ・女子 準決勝 鹿商高2-0川内商高
- 鶴丸高2-1甲南高
- 鶴丸高2-1国分高
- 決 勝 鹿屋高2-0鶴丸高
- 決 勝 鹿商高2-0鶴丸高

○ 九州高校予選(7月21, 22日 中央公園)

- ・男子 決勝 鹿 屋2-1玉 竜
- ・女子 準決勝 鶴 丸2-0出 水
- 鹿 商2-0宮之城
- 決 勝 鹿 商2-0鶴 丸

○ 第一回県下都市対抗中学校女子大会

準決勝 城西中2-0金山中 市来中2-1内之浦 決勝 城西中2-0市来中

◎ 九州高校大会(8月12日 鹿市中央公園) 【鹿屋, 鹿商優勝】

- ・男子 Aゾーン 玉竜高2-1国加高 玉竜高0-2伝習館 玉竜高0-2小城高
- Bゾーン 鹿屋高2-0上野丘 鹿屋高2-0熊本工 鹿屋高2-1大淀高
- 決 勝 鹿屋高2(21-17, 19-21, 21-19)1伝習館
- ・女子 Aゾーン 鶴丸高2-0臼杵高 鶴丸高0-2島原商 鶴丸高0-2佐賀高
- Bゾーン 鹿商高2-0大宮高 鹿商高2-1熊本市立 鹿商高2-0筑紫高
- 決 勝 鹿商高2(21-13, 13-21, 21-16)1島原高

● 全日本教員大会(8月11日~13日 名古屋市)

一回戦 鹿児島市教師団 2-0 開陽ク（山口） 二回戦 鹿児島市教師団 2-0 福井教師団
準々決勝 鹿児島市教師団 0-2 金沢教師団

- 山口天皇杯バレー（8月25日） 鹿屋ク 0-2 兵庫ク
- 国民体育大会予選（第五回県体 9月23, 29日 中央公園）
 - ・高校男子 準決勝 玉竜 2-0 甲南 決勝 鶴丸(ノーゲーム)玉竜
 - ・高校女子 準決勝 川辺 2-0 出水 決勝 鹿商 2-0 川辺
 - 鶴丸 2-1 鹿屋 鹿商 2-0 国分

この時の男子決勝戦ではトラブルが起きた。9月26日の南日本新聞には次のように記してある。

判定不服でトラブル 高校バレー予選の優勝戦

国体高校バレーボール県代表をきめる優勝戦に審判の判定からトラブルを生じ、スポーツ界に一汚点をのこした。二十五日午後三時から中央公園コートで行われた鶴丸高対玉竜高の優勝戦は、両軍とも実力伯仲して鶴丸高が第三セットで28-26で勝って優勝したかに見えたが、サイド・コーチが鶴丸高にあったとして、徳留主審は玉竜高にもまた一点をくわえ28-27の判定を下した。鶴丸高はこの主審の判定を不服とし、二時間にわたるのち両校とも試合を放棄。結局ノーゲームとなったので、バレーボール協会ではなるべく早く理事会をひらいて再試合を行うかどうかをきめることになった。

鶴丸高 2 (23-25, 21-10, 28-27) 1 玉竜高

川野理事長談 ポイントは鶴丸に認めるが、サイド・コーチのあったことは反則。

野元鶴丸監督談 こういう試合の判定で試合を続行するのは生徒が可哀そうだ。

麓川玉竜高監督談 鶴丸がわのネット・タッチを抗議したが認められなかった。しかしその質儀中サイド・コーチが鶴丸高にあったことは明らかに反則だ。

※再試合はなく国民体育大会には鶴丸高校が出場（麓川先生談）

- ◎ 国民体育大会九州予選（9月24日 熊本市）
 - ・一般男子 準決勝 鹿屋ク 2-0 小城炭鉱 決勝 鹿屋ク 0-2 小倉製鋼(福岡)
 - ・一般女子 一回戦 山形屋 2-0 相川ク(長崎) 準決勝 山形屋 2-0 片倉製紙(熊本)
 - 決勝 山形屋 0-2 日本ゴム(福岡)

- 国民体育大会(10月28日～11月3日 広島)
 - ・高校男子 一回戦 鶴丸 0-2 洛陽(京都)
 - ・高校女子 二回戦 鹿商 0-2 高崎技芸(群馬)

- 鹿児島県選手権大会（11月11日 中央公園）
 - ・男子 Aクラス 準決勝 鹿屋 2-1 スパルタ 西鹿工場 2-0 市庁 決勝 鹿屋 2-0 西鹿工場
 - Bクラス 準決勝 鹿工 2-1 三星 甲南 2-0 県庁 決勝 甲南 2-1 鹿工高
 - ・女子 準決勝 甲南高 2-1 伊集院高 鹿商高 2-0 鶴丸高 決勝 鹿商高 2-0 甲南高
 - *スパルタクラブ（一中・鶴丸OB）

○ 県下中学大会(バレー連盟主催 11月18日 中央公園)

- ・男子 決勝リーグ戦 城西中2-0甲南中 甲東中2-0城西中 甲東中2-0甲南中
1位 甲東中 2位 城西中 3位 甲南中
- ・女子 決勝 甲東中2(21-14, 21-18)0城西中 3位 武中

昭和27年

山形屋が国民体育大会南九州代表になっている。国民体育大会予選と県民体育大会が、別々に開催されるようになっている。

○ 県民体育大会(5月5, 6日 中央公園)

- ・一般男子 準決勝 鹿市2-0鹿屋市 始良郡2-0伊佐郡 決勝 鹿市2-0始良郡
- ・一般女子 決勝 鹿児島市2-0始良郡
- ・教職員男子 決勝リーグ戦 鹿市2-0肝属郡 始良郡2-1肝属郡 鹿市2-0始良郡
1位 鹿児島市 2位 始良郡 3位 肝属郡
- ・教職員女子 1位 薩摩郡 2位 鹿児島市 3位 日置郡
- ・高校男子 準決勝 鹿屋2-0鹿工 鶴丸2-0玉竜 決勝 鶴丸2-0鹿屋
- ・高校女子 準決勝 鶴丸2-0種子島 鹿商2-0伊集院 決勝 鶴丸2-1鹿商

○ 県下中学校大会(6月15日 中央公園)

- ・男子 決勝リーグ戦 西原中2-0長田中 長田中2-1天保山中 西原中2-0天保山中
1位 西原中 2位 長田中 3位 天保山中
- ・女子 決勝 武中2-1甲東中

○ 全日本高校予選(7月6日 中央公園)

- ・男子 準決勝 甲南2-0玉竜 鹿工2-0加工 決勝 鹿工2-1甲南
- ・女子 決勝 鹿商2-0鶴丸

○ 九州高校大会予選(7月18, 19日 中央公園)

- ・男子 準決勝 鶴丸2-1鹿屋 鹿商2-1玉竜 決勝 鹿商2-1鶴丸
- ・女子 準決勝 鹿商2-0甲南 鶴丸2-0岩川 決勝 鹿商2-1鶴丸

○ 県下中学校大会(8月5日 中央公園)

- ・男子 優勝 長田中
- ・女子 優勝 吾平中

○ 国民体育大会予選(9月6, 7日 中央公園)

- ・高校男子 準決勝 鹿商2-0鹿工 鹿屋2-1鶴丸 決勝 鹿商2-1鹿屋
- ・高校女子 準決勝 鹿商2-0甲南 鶴丸2-0宮之城 決勝 鶴丸2-1鹿商

◎ 国民体育大会南九州予選(9月19日 鹿商講堂)

- ・一般女子 決勝 山形屋2-0熊本県庁
- ・一般男子 決勝 西鹿工1-2荒尾ク

● 国民体育大会（10月19～23日 山形）

- ・高校男子 一回戦 鹿商1-2川越高
- ・高校女子 二回戦 鶴丸2-1安来高 三回戦 鶴丸0-2由利高
- ・一般女子 一回戦 山形屋0-2持浦製紙

昭和28年

九州高校大会で鹿商の女子が優勝している。

◎ 都市対抗南九州地区予選（4月5日 中央公園）

- ・一般男子 優勝 西鹿児島工場

○ 県バレーボール祭（5月5日 中央公園）

- ・一般男子 準決勝 西鹿工場2-1スパルタ 南雲教師団2-0谷山
決勝 日没中止
- ・一般女子 決勝 山形屋2-0鹿児島製菓
- ・高校男子 準決勝 鹿工2-0鹿商 川内2-1玉竜
決勝 鹿工2-0川内
- ・高校女子 準決勝 甲南2-0加治木 鹿商2-1鶴丸
決勝 鹿商2-0甲南
- ・中学男子 準決勝 長田中2-1武中 天保山中2-0甲南中
決勝 長田中2-0天保山中
- ・中学女子 準決勝 長田中2-0城西中 甲南中2-0鴨池中
決勝 長田中2-0甲南中

○ 全日本高校大会県予選（7月5日 中央公園）

- ・男子 準決勝 鹿工2-0鹿商 玉竜2-1鹿屋工
決勝 鹿工2-0玉竜
- ・女子 準決勝 鶴丸2-0玉竜 鹿商2-0鹿実践
決勝 鹿商2-1鶴丸

○ 全日本総合選手権県予選（7月12日 中央公園）

- ・一般男子 決勝 スパルタ2-0西鹿工場
- ・一般女子 リーグ戦 鶴丸OB2-0鹿児島製菓
1位 鶴丸OB 鶴丸OB2-0専売公社
専売公社2-0鹿製菓
- ・教職員 南雲2-0加中クラブ

○ 九州高校大会予選（7月18, 19日 中央公園）

- ・男子 準決勝 鹿商2-0玉竜 鶴丸2-1鹿屋
決勝 鶴丸2-1鹿商
- ・女子 準決勝 鹿商2-0甲南 鶴丸2-0宮之城
決勝 鹿商2-0鶴丸

○ 県下中学体育祭（8月4日 中央公園）

- ・男子 準決勝 西原2-0利永
- ・女子 準決勝 枕崎2-0東郷

- 竜門 2-0 天保山
清水 2-1 小湊
- 決勝 西原 2-0 竜門
決勝 清水 2-1 枕崎
- ◎ 九州高校大会 (8月23日 旭化成コート)
- ・女子 リーグ戦 鹿商 2-1 多良木 鹿商 2-0 島原 鹿商 2-0 恒富
決勝 鹿商 2 (19-21, 21-16, 21-8) 1 明喜
- 国民体育大会予選 (一般8月30日 高校9月4, 5日 中央公園)
- ・一般男子 決勝 スパルタ 2-0 九配
 - ・一般女子 決勝 四葉ク 2-1 専売公社
 - ・高校男子 準決勝 鹿商 2-0 鹿工
鶴丸 2-0 伊集院
 - ・高校女子 準決勝 鶴丸 2-0 宮之城
鹿商 2-0 加世田
 - 決勝 鹿商 2-1 鶴丸
決勝 鹿商 2-0 鶴丸
- 県民体育大会 (9月20日 中央公園)
- ・教職員男子 決勝 加治木中 2 (21-13, 21-14) 0 大川内中
 - ・女子 リーグ戦 出水郡 2-1 鹿児島市 出水郡 2-1 薩摩郡 薩摩郡 2-1 鹿児島市
1位 出水郡 2位 薩摩郡 3位 鹿児島市
 - ・一般男子 決勝 鹿児島市 2-0 肝属郡
 - ・一般女子 決勝 鹿屋市 2-1 薩摩郡
 - ・青年男子 決勝 川辺郡 2-0 薩摩郡
 - ・青年女子 決勝 始良郡 (不戦勝) 日置郡 (棄権)
- 国民体育大会 (10月22~27日 香川)
- ・高校男子 二回戦 鹿商 2-0 山形南
 - ・高校女子 二回戦 鹿商 2-0 北野高 三回戦 鹿商 0-2 明喜
 - ・一般女子 一回戦 四葉ク 0-2 臼杵ク

昭和29年

中学、高校の新人大会、および県選抜大会 (一般・教員・大学・高校など選抜チームの大会) が始まっている。玉竜体育館が落成している。県民体育大会に婦人の部が加わっている。住友金属チームを招いて技術講習会を開いている。

- 中学、高校新人大会 (3月26日 中央公園)
- ・高校男子 準決勝 鹿屋 2-1 加治木
鹿商 2-0 照国
決勝 鹿商 2-0 鹿屋
 - ・高校女子 決勝 鹿商 2-0 鹿屋
 - ・中学男子 優勝 長田中
 - ・中学女子 決勝 甲東 2-1 武
- 都市対抗予選 (3月28日 中央公園)
- ・男子 決勝 鹿児島市庁 2-1 南雲
 - ・女子 鹿児島製菓 不戦勝
- 実業団大会予選 (4月11日 中央公園)
- ・男子 九電 2-1 市庁 九電 2-1 西鹿工場 西鹿工場 2-1 市庁 優勝 九電

- 県バレーボール祭（5月5日 中央公園）
- ・一般男子 準決勝 市 庁2-0スパルタ 南 雲2-0天保山ク 決 勝 市庁2-1南雲
 - ・高校男子 準決勝 鹿 商2-0鹿 工 高校女子 準決勝 鶴 丸2-0実 践
鹿屋工2-0玉 竜 鹿 商2-0川 内
決 勝 鹿 商2-0鹿屋工 決 勝 鹿 商2-0鶴 丸
 - ・中学男子 準決勝 長田中2-1甲東中 中学女子 準決勝 城西中2-0鴨池中
天保山中2-0入来中 清水中2-0武 中
決 勝 長田中2-0天保山中 決 勝 清水中2-1城西中
- 県選手権大会（5月18日 鶴丸高）
- ・男子 Aクラス 決 勝 鹿 商2-0スパルタ Bクラス 優 勝 照国高
 - ・女子 決 勝 鹿 商2-0加治木
- 国民体育大会兼全九州高校大会予選（5月29, 30日 中央公園）
- ・男子 準決勝 鹿 商2-0鹿 屋 女子 準決勝 鹿 商2-0実 践
鹿屋工2-0鶴 丸 鶴 丸2-0宮之城
決 勝 鹿 商2-0鹿屋工 決 勝 鹿 商2-1鶴 丸
- 全日本高校大会予選（6月13日 中央公園）
- ・男子 準決勝 鹿屋工2-0玉 竜 女子 準決勝 鶴 丸2-0鹿 屋
鹿 商2-1鹿 屋 鹿 商2-0甲 南
決 勝 鹿 商2-1鹿屋工 決 勝 鹿 商2-0鶴 丸
- 中学校選手権大会（6月13日 中央公園）
- ・男子 決 勝 甲 東2-0入 来
 - ・女子 決勝リーグ 清 水2-0鴨 池 清 水2-0城 西 城 西2-0鴨 池
優 勝 清 水中
- 国民体育大会予選（7月17日 中央公園, 鶴丸高校）
- ・一般男子 準決勝 鹿 銀2-1スパルタ 教 員 リーグ戦 南雲ク2-0大 島
南 雲2-1鹿 大 優 勝 南雲ク 加治木2-1大 島
決 勝 南 雲2-0鹿 銀 南雲ク2-0加治木
- 国民体育大会（8月22~26日 北海道）
- ・一般男子 二回戦 南 雲1-2日東クラブ(福島)
- 全日本総合男女選手権（9月19日 中央公園）
- ・男子 準決勝 鹿市庁2-1スパルタ 女子 準決勝 鶴丸高2-0県 庁
鹿 商2-0鹿 屋 鹿 商 不戦勝
決 勝 鹿 商2-0鹿市庁 決 勝 鹿 商2-0鶴丸高

住友小倉招き講習 鹿児島県バレーボール協会

10月7日の新聞に次のように記されている。県バレーボール協会では十日鹿児島市中央公園バレー・コートで健康保険九州地区バレー大会がひらかれるのを機会に、全日本バレーボール実業界のチャンピオン住友金属小倉製鉄チームを招き、十一日午後から同中央公園コートでバレーボール技術指導講習会をひらくがファン多数の受講をのぞんでいる。

○ 県民体育大会 (11月13, 14日 鴨池, 中央公園)

- ・一般男子 準決勝 加世田市 2-1 川内市
鹿屋市(失格)鹿児島市
- ・婦人会 準決勝 日置郡 2-1 始良郡
鹿屋市 2-0 串木野市
- 決勝 鹿屋市 2-0 加世田市
- 決勝 鹿屋市 2-0 日置郡
- ・一般女子 決勝 鹿児島郡 2 (24-22, 21-17) 0 出水市

○ 県選抜選手権 (12月12日 玉竜高校体育館)

- ・男子 リーグ戦 大学 2-1 教師団 高校 2-0 一般 一般 2-1 大学
高校 2-0 教師団 高校 2-0 大学 教師団 2-0 一般
優勝 高校
- ・女子 女子三年 3-1 女子新人

昭和30年

この年の第一回アジア・バレーボール選手権大会で「国際式六人制バレーボール」がお目見えしている。

○ 都市対抗予選 (3月13日 玉竜高校体育館)

- ・男子 決勝 九電 2-0 市庁
- ・女子 優勝 県庁

○ 中学, 高校新人大会 (4月17日 中央公園)

- ・高校男子 準決勝 鹿工 2-1 高山
鹿商 2-0 鹿屋
- ・高校女子 準決勝 玉竜 2-0 川内商工
枕崎 2-0 鶴丸
- 決勝 鹿商 2-0 鹿工
- 決勝 玉竜 2-1 枕崎
- ・中学男子 決勝リーグ 第一鹿屋 2-0 甲東
第一鹿屋 2-0 国分
- ・中学女子 決勝 鹿屋 2-0 清水

○ 県バレーボール祭 (5月5日 中央公園)

- ・一般男子 決勝 国鉄西工場 2-0 スパルタ
- ・一般女子 リーグ戦 山形屋 2-0 鹿大 山形屋 2-0 専売公社 専売公社 2-1 鹿大
- ・高校男子 準決勝 鹿商 2-0 鉄道高 川内 2-0 加治木
- ・高校女子 準決勝 鶴丸 2-0 実践
宮之城 2-1 鹿商A
- 決勝 鹿商 2-0 川内
- 決勝 鶴丸 2-0 宮之城
- ・中学男子 決勝 甲南中 2-1 甲東中
- ・中学女子 決勝 大川内中 2-0 清水中

- 県春季総合選手権（5月22日 中央公園）
 - ・男子Aクラス 準決勝 鹿市庁2-1全鹿商 九電2-0鹿銀 決勝 鹿市庁2-1九電
 - ・男子Bクラス 準決勝 県庁2-0甲南 鹿工2-0出水 決勝 鹿工2-1県庁
 - ・女子Aクラス 準決勝 山形屋2-0実践 県庁2-0専売 決勝 山形屋2-0県庁
 - ・中学男子 1位 城西A 2位 甲東 3位 城西B
 - ・中学女子 1位 城西A 2位 甲東 3位 城西B
- 実業団大会予選（5月29日 中央公園）
 - ・男子 九州電力2-1郵便局 西鹿児島工場2-0郵便局 西鹿児島工場2-0九州電力
 - ・女子 専売公社2-0電話局
- 中学校選手権大会（6月12日 中央公園）
 - ・男子 準決勝 第一鹿屋2-0甲東中 長田中2-1甲南中
決勝 長田中2-0第一鹿屋
 - ・女子 準決勝 城西中2-0甲東中
記録なし
決勝 栗野西2-0城西中
- 全日本総合予選（7月10日 中央公園）
 - ・男子 準決勝 鹿商2-0甲南OB 鹿屋2-1南雲
決勝 鹿商2-1鹿屋
 - ・女子 準決勝 鶴丸2-0鹿商桜 県庁2-0鹿大
決勝 県庁2-0鶴丸
 - ・教職員 南雲2-0加治木
- 全日本高校大会予選（7月17日 中央公園）
 - ・男子 準決勝 鹿商2-0鹿屋 鶴丸2-0鹿屋工
決勝 鹿商2-1鶴丸
 - ・女子 準決勝 鶴丸2-0鹿商梅 鹿商桜2-0実践
決勝 鶴丸2-0鹿商桜
- 九州高校大会予選（7月30, 31日 中央公園, 玉竜高校体育館）
 - ・男子 準決勝 鹿商2-0鹿屋 鹿屋工2-1鶴丸
決勝 鹿商2-0鹿屋工
 - ・女子 準決勝 枕崎2-1鹿商 玉竜2-0川辺
決勝 玉竜2-1枕崎
- 中学都市対抗（8月1日 中央公園）
 - ・男子 準決勝 名瀬2-0二松 甲南2-1谷山
決勝 名瀬2-1甲南
 - ・女子 準決勝 吾平2-0鶴田 清水川原2-0枕崎
決勝 吾平2-0清水川原
- ◎ 九州高校大会（8月28日 佐賀高校）
 - ・男子 決勝 鹿商1-2熊本工
- 国民体育大会予選（9月3, 4日 中央公園）
 - ・一般男子 準決勝 鹿市庁2-0玉竜OB
 - ・一般女子 リーグ戦 専売公社2-0山形屋

- 甲南OB 2-0 鹿大
 決勝 鹿市庁 2-0 甲南OB
 ・教職員 決勝 南雲ク 2-0 加治木ク
 ・高校男子 準決勝 鶴丸 2-1 鹿屋
 鹿商 2-0 鹿屋工
 決勝 鹿商 2-1 鶴丸
 ・高校女子 準決勝 鶴丸 2-0 枕崎
 鹿商 2-1 玉竜
 決勝 鹿商 2-1 鶴丸
- 県民体育大会 (10月8, 9日 鴨池, 中央公園)
- ・一般男子 準決勝 出水市 2-0 加世田市
 川内市 2-0 串木野市
 決勝 川内市 2-0 出水市
 ・一般女子 準決勝 大口市 2-0 出水市
 薩摩郡 2-0 国分市
 決勝 薩摩郡 2-0 大口市
 ・婦人会 準決勝 枕崎市 2-1 串木野市
 指宿市 2-0 出水市
 決勝 指宿市 2-0 枕崎市
- 秋季県総合選手権 (11月23日 中央公園)
- ・男子Aクラス 準決勝 西工場 2-0 鹿大 全鹿商 2-1 南雲 決勝 全鹿商 2-1 西工場
 ・男子Bクラス 準決勝 県庁 2-0 伊作高 甲南 2-0 川内商工 決勝 甲南 2-0 県庁
 ・男子Cクラス 甲東中 2-1 天保山中
 ・女子Aクラス 準決勝 実践 2-0 川内 鶴丸ク 2-0 専売公社 決勝 鶴丸ク 2-0 実践
 ・女子Bクラス 決勝 栗野西中 2-0 甲東中
- 県選抜選手権 (11月4日 中央公園)
- ・男子 高校 2-0 一般 教職員 2-0 大学 高校 2-0 教職員
 ・女子 一般 2-0 高校新人 高校新人 2-1 高校三年 一般 2-0 高校三年

昭和31年

高校男子鹿商が九州高校大会で優勝し、国体九州ブロック代表権を得ている。照国高校体育館が落成している。

- 都市対抗予選 (3月11日 玉竜高校体育館)
- ・男子 準決勝 西鹿工場 2-0 鹿市庁
 スパルタク 2-1 九電
 決勝 西鹿工場 2-1 スパルタククラブ
 ・女子 リーグ戦 鹿児島製菓 2-0 電話局
 山形屋 2-0 電話局
 鹿児島製菓 2-0 山形屋
- 中学, 高校新人大会 (4月15日 中央公園)
- ・高校男子 準決勝 鹿商A 2-0 鹿屋
 鹿屋工 2-0 鹿鉄高
 決勝 鹿商A 2-0 鹿屋工
 ・高校女子 準決勝 川辺 2-1 枕崎
 鹿女子 2-0 鹿屋
 決勝 鹿女子 2-0 川辺
 ・中学男子 決勝 甲東 (21-19, 21-17) 1 甲南

- ・中学女子 決勝 市来2 (21-11, 22-20) 0 田崎
- 県バレーボール祭（5月5, 6日 中央公園）
 - ・一般男子 準決勝 鹿大2-1 南雲ク
スパルタク2-1 甲南OB
決勝 スパルタク2-0 鹿大
 - ・一般女子 決勝 山形屋2-0 鹿大
 - ・高校男子 準決勝 甲南2-0 鹿実
鹿商2-0 加治木
決勝 鹿商2-0 甲南
 - ・高校女子 準決勝 鹿女子2-0 実践
玉竜A(不戦勝)宮之城
決勝 鹿女子2-0 玉竜A
 - ・中学男子 準決勝 甲東(棄権)栗野西
城西2-1 和田
決勝 甲東2-0 城西
 - ・中学女子 準決勝 市来2-0 城西
栗野西2-0 清水(国分)
決勝 市来(棄権)栗野西
- 県春季総合選手権（5月27日 中央公園）
 - ・男子Aクラス 準決勝 鹿商2-1 商大 甲南高2-0 鹿大 決勝 鹿商2-0 甲南高
 - ・男子Bクラス 準決勝 鹿農伊敷2-0 隼人高 鹿屋航空隊2-1 加治木
決勝 鹿屋航空隊2-0 鹿農伊敷
 - ・男子Cクラス 決勝 城西中2 (12-21, 21-16, 21-12) 1 甲東中
 - ・女子Aクラス 準決勝 宮之城ク2-0 照国高 鹿女子高2-0 専売公社
決勝 宮之城ク2-0 鹿女子高
 - ・女子Bクラス 決勝 城西中2 (21-11, 21-19) 0 甲東中
- 全日本実業団予選（6月3日 中央公園）
 - ・男子 鹿市庁2-1 県庁 鹿銀2-1 九電 鹿市庁2-0 鹿銀
九電2-0 県庁 県庁2-0 鹿銀 鹿市庁2-1 九電
1位 鹿市庁 2位 九電 3位 県庁 4位 鹿銀
 - ・女子 専売公社 不戦勝
- 県下中学校大会（6月10日 中央公園）
 - ・男子 準決勝 甲東2-1 長田 鹿屋2-1 城西
決勝 甲東2-0 鹿屋
 - ・女子 準決勝 市来2-1 鹿屋 栗野西2-1 甲東
決勝 市来2-1 栗野西
- 全日本高校予選（7月1日 中央公園）
 - ・男子 準決勝 鹿商2-0 鹿屋 甲南2-0 加治木
決勝 鹿商2-0 甲南
 - ・女子 準決勝 実践2-1 玉竜 鹿女子2-0 宮之城
決勝 鹿女子2-0 実践
- 全日本総合男子ならびに教職員選手権予選（7月8日 玉竜高校体育館）
 - ・一般男子 準決勝 鹿商2-0 甲南ク
 - ・教員男子 準決勝 南雲2-0 伊集院

- 鹿屋ク 2-0 南雲ク
 決勝 鹿屋ク 2-0 鹿商
- 始良郡(棄権)垂水小
 決勝 南雲 2-1 始良郡
- 九州高校大会予選 (7月22, 23日 中央公園)
- ・男子 準決勝 鹿商 2-0 薩南
 甲南 2-0 鹿屋
 決勝 鹿商 2-0 甲南
 - ・女子 準決勝 鹿女子 2-0 川辺
 実践 2-1 宮之城
 決勝 鹿女子 2-0 実践
- 県下中学校大会 (7月30, 31日 中央公園)
- ・男子 準決勝 玉林 2-0 城西
 甲東 2-0 竜門(始良)
 決勝 甲東 2-0 玉林(川辺)
 - ・女子 準決勝 清水 2-0 鹿屋
 甲東 2-0 池田(指宿)
 決勝 甲東 2-1 清水
- 全日本女子総合予選 (8月13日 中央公園)
- 準決勝 玉竜高 2-0 電話局 鹿女高 2-0 実践高 決勝 鹿女高 2-0 玉竜高
- ◎ 第九回全九州高校大会 (8月26日 大分高校コート)
- ・男子Bゾーン 予選リーグ 鹿商 2-0 大分工 鹿商 2-0 直方 鹿商 2-0 日南
 決勝 鹿兒島商 2 (19-21, 21-18, 21-18) 1 熊本工
 【鹿兒島商 Bゾーン優勝】
- 国民体育大会予選 (9月11, 15日 中央公園)
- ・一般男子 準決勝 オール商大 2-0 西工場
 鹿大 2-1 鹿市庁
 決勝 鹿大 2-0 オール商大
 - ・一般女子 リーグ戦 宮之城ク 2-0 電話局 専売公社 2-0 電話局 県庁ク 2-1 電話局
 県庁ク 2-0 専売公社 宮之城高ク 2-1 県庁ク 宮之城ク 2-1 専売公社
 1位 宮之城高クラブ 2位 県庁クラブ 3位 専売公社 4位 電話局
 - ・高校男子 準決勝 大島 2-1 甲南
 鹿商 2-0 薩南
 決勝 鹿商 2-0 大島
 - ・高校女子 準決勝 鹿女子 2-0 川辺
 実践 2-0 宮之城
 決勝 鹿女子 2-0 実践
- ◎ 国民体育大会九州地区予選 (9月22日 宮崎大体育館)
- ・教職員 決勝 南雲クラブ(鹿兒島) 1 (15-21, 21-19, 14-21) 2 鶴陽クラブ(福岡)
 - ・高校男子 準決勝 鹿兒島商高 2-1 大淀高(宮崎) 伝習館高(福岡) 2-0 大分商高
 決勝 鹿兒島商高 2 (21-15, 21-18) 0 伝習館高 【鹿商 優勝】
- 県民体育大会 (9月22~24日 鴨池, 中央公園)
- ・一般男子 準決勝 国分市 2-0 加世田市
 鹿屋市 2-0 薩摩郡
 決勝 鹿屋市 2-1 国分市
 - ・婦人会 準決勝 枕崎市 2-0 鹿兒島市
 串木野市 2-0 出水郡
 決勝 枕崎市 2-0 串木野市

・一般女子 決勝 鹿屋市2-1日置郡

○ 県秋季選手権大会（10月18日 中央公園）

- ・男子Aクラス 準決勝 鹿商2-1鹿大 南雲ク2-0西工場 決勝 鹿商2-1南雲ク
- ・男子Bクラス 準決勝 鹿鉄道高2-0鹿児島高 鹿屋航空隊2-0鹿県庁
決勝 鹿屋航空隊2-1鹿鉄道高
- ・男子Cクラス 準決勝 武中2-0城西中 吉松中2-1谷山中 決勝 武中2-1吉松中
- ・女子Aクラス 準決勝 鹿女高A2-0鶴丸 実践2-1宮之城高ク 決勝 鹿女高A2-0実践
- ・女子Bクラス 準決勝 市来中2-0武中 城西中2-0谷山中 決勝 市来中2-1城西中

○ 県選抜選手権（11月9日 照国高体育館）

- ・男子 リーグ戦 教師団2-0一般男 高校2-1大学 教師団2-0大学
一般男2-1高校 教師団2-0高校 一般男2-0大学
1位 教師団 2位 一般男 3位 高校 4位 大学
- ・女子 リーグ戦 女子高2-1一般女 高女連合2-1一般女 高女連合2-1女子高
1位 高女連合 2位 女子高 3位 一般女

昭和32年

鹿児島女子高が国民体育大会九州代表権を得ている。

○ 都市対抗県予選（3月10日 中央公園）

- ・男子 リンクリーグ戦 県庁2-0鹿児島銀行 西工場2-0県庁 西工場2-1鹿児島銀行
市庁2-0郵便局 郵便局2-1鹿屋航空隊 市庁2-0鹿屋航空隊
決勝 西鹿児島工場2(21-16, 21-14)0鹿児島市庁
- ・女子 決勝 白梅クラブ2(23-21, 22-24, 21-18)1鹿児島電話局
*白梅クラブ（鹿児島女子高OGを中心としたチーム）

○ 中学、高校新人大会（4月14日 中央公園）

- ・高校男子 準決勝 鹿商A2-0鹿屋工 鹿屋2-0甲南
決勝 鹿商A2-0鹿屋
- ・高校女子 準決勝 鹿女子A2-0末吉 加世田2-0鹿女子B
決勝 鹿女子A2-0加世田
- ・中学男子 準決勝 武2-0甲南 城西2-1清水
決勝 武2-0城西
- ・中学女子 準決勝 鹿屋第一2-1清水 東市来2-1城西
決勝 東市来2-1鹿屋第一

○ バレーボール祭（5月5日 玉竜高校体育館） オープン戦

- ・中学男子 長田中2-I谷山中 清水中2-1武中 天保山中2-0城西中
- ・中学女子 城西中B2-1谷山中 長田中2-0鴨池中 大口中2-0甲東中

城西中A2-1 武中 大口中2-0 天保山中 清水中2-0 市来中

○ 県春季総合選手権 (5月26日 中央公園)

- ・男子Aクラス 準決勝 鹿商A2-0 市 庁 西工場2-1 鹿市教員 決勝 鹿商A2-1 西工場
- ・男子Bクラス 準決勝 鹿屋航空隊2-0 県 庁 鹿商B2-1 玉里ク 決勝 鹿屋航空隊2-1 鹿商B
- ・男子Cクラス 準決勝 武中2-0 甲東中 谷山中2-0 甲南中 決勝 武中2-0 谷山中
- ・女子Aクラス 準決勝 鹿女子高2-0 実践高 電話局2-1 玉竜高 決勝 鹿女子A2-0 電話局
- ・女子Bクラス 準決勝 東市来中2-0 甲東中 武中2-0 甲南中 決勝 東市来中2-1 武中

○ 県下中学校選手権 (バレーボール協会主催 6月2日 中央公園)

- ・男子 準決勝 武中2-0 清水中 天保山中2-0 甲南中 決勝 天保山中2-1 武中
- ・女子 準決勝 鹿屋第一中2-0 城西中 清水中2-0 東市来中 決勝 鹿屋第一中2-0 清水中

○ 全国高校大会予選 (6月23日 中央公園)

- ・男子 準決勝 鹿商A2-0 大島 鹿屋2-0 鹿商B 決勝 鹿商A2-0 鹿屋
- ・女子 準決勝 鹿女子A2-0 実践 鹿女子B2-0 宮之城 決勝 鹿女子A2-0 鹿女子B

○ 全九州高校大会予選 (7月22日 中央公園)

- ・男子 決勝 鹿商高2(21-17, 21-9) 1 鹿屋高
- ・女子 決勝 鹿女子高2(21-13, 21-12) 0 玉竜高

◎ 第十回全九州高校大会 (8月24日 鹿兒島市中央公園)

- ・女子 Dパート 鹿女子高2-0 佐賀商 鹿女子高2-0 筑豊高 鹿女子高2-0 日南高 決勝 鹿女子高2(20-22, 21-12, 21-11) 1 熊本第一 【鹿女子高四年ぶりに優勝】

○ 国民体育大会予選 (8月31日, 9月8~9日 中央公園)

- ・一般男子 決勝 鹿大2(21-13, 21-15) 0 鹿市庁
- ・一般女子 リーグ戦 山形屋2-1 電話局 県庁2-0 電話局 県庁2-0 山形屋
- ・教職員 決勝 鹿兒島市教師団2(21-19, 21-12) 0 加治木
- ・高校男子 準決勝 鹿商A2-0 国分実 鹿屋高2-0 鹿商B 決勝 鹿商A2-0 鹿屋
- ・高校女子 準決勝 鹿女子2-0 加世田 玉竜2-1 宮之城 決勝 鹿女子2-0 玉竜

○ 県民体育大会 (9月21~23日 鴨池, 中央公園)

- ・一般男子 準決勝 鹿屋市2-0 加世田市 川内市2-0 指宿郡 決勝 川内市2-1 鹿屋市
- ・一般女子 決勝 薩摩郡2-1 鹿屋市
- ・婦人会 決勝リーグ 川内市2-0 鹿兒島市 枕崎市2-0 鹿兒島市 枕崎市2-1 川内市 1位 枕崎市 2位 川内市 3位 鹿兒島市

- ◎ 国民体育大会九州予選（9月23日 長崎東高校）
 - ・高校女子 一回戦 鹿女子高2－0熊本一高 準決勝 鹿女子高2－0島原商高
決勝 鹿女子高2(21-16, 21-18)0臼杵高
- 全日本総合女子選手権予選（9月29日 照国高体育館）
 - 準決勝 鹿女子高A2－0鶴丸高 電々鹿児島2－0鹿女子高B
決勝 鹿女子高A2(21-12, 21-17)0電々鹿児島
- 県秋季総合選手権（11月17日 中央公園）
 - ・男子Aクラス 準決勝 鹿商A2－0甲南ク 鹿市教師団2－0鹿大A 決勝 鹿商A2－1鹿市教師団
 - ・男子Bクラス 準決勝 鹿商B2－0鶴丸高 鹿県庁2－0鹿高B 決勝 鹿商B2－0鹿県庁
 - ・男子Cクラス 準決勝 武中2－0甲東中 清水中2－1甲南中 決勝 武中2－0清水中
 - ・女子Aクラス 準決勝 鹿女高B2－1玉竜高 鹿女高A2－0実践高 決勝 鹿女高A2－1鹿女高B
 - ・女子Bクラス 準決勝 清水中2－1谷山中 東市来中2－0城西中 決勝 東市来中2－0清水中

昭和33年

鹿児島市教員が全国教員大会で3位になっている。中学新人大会がなくなっている。

- 全国都市対抗県予選（3月9日 玉竜高校体育館）
 - リーグ戦 鹿市役所2－0県庁 鹿屋航空隊2－0鹿市役所 県庁2－1鹿屋航空隊
1位 鹿屋航空隊 2位 鹿児島県庁 3位 鹿児島市役所（セット率による）
- 高校新人大会（4月13日 中央公園）
 - ・男子 準決勝 鹿商A2－0鹿児島高 鹿商B2－0谷山
決勝 鹿商A2－0鹿商B
 - ・女子 準決勝 鹿女子A2－0出水 照国商A2－0鹿女子B
決勝 鹿女子A2－0照国商A
- バレーボール祭（5月5日 中央公園）
 - ・一般男子 決勝 鹿児島市庁2－0鹿大A
 - ・高校男子 決勝 鹿商A2－1鹿商B
 - ・高校女子 決勝 鹿女子2－0照国
- 県春季総合選手権州（5月18日 鹿商高校庭）
 - ・男子Aクラス 準決勝 鹿市庁2－0鹿大 鹿商高2－0鹿商大 決勝 鹿商高2－1鹿市庁
 - ・男子Bクラス 準決勝 照国商高2－1鹿高 鹿商高B2－0枕崎高 決勝 照国商高2－1鹿商高B
 - ・女子 準決勝 鹿女子高A2－0鶴丸高 電々鹿児島2－0照国商高
決勝 鹿女子高A2－0電々鹿児島
- 第一回県中学校大会（男子6月1日，女子6月8日 中央公園）
 - ・男子 準決勝 武中2－0長田中 谷山中2－1根占中 決勝 谷山中2－1武中
 - ・女子 準決勝 谷山中2－1甲東中 下東郷中2－1城西中 決勝 下東郷中2－1谷山中
- 全日本実業団予選（6月22日 中央公園）

- ・男子 リーグ戦 西工場 2-0 九電鹿児島 九電 2-0 県庁 西工場 2-0 県庁
優勝 西鹿児島工場
- 全日本高校予選 (6月29日 中央公園)
 - ・男子 準決勝 鹿商A 2-1 鹿高A 鹿商B 2-0 鹿鉄高
決勝 鹿商A 2-0 鹿商B
 - ・女子 準決勝 鹿女子高A 2-0 実践高 照国商高 2-1 出水高
決勝 鹿女子高A 2-0 照国商高A
- 全日本教職員予選 (7月6日 中央公園)
決勝 鹿児島市 2 (21-14, 21-18) 0 日置郡
- 九州高校予選 (7月21日 中央公園)
 - ・男子 準決勝 鹿商 2-0 古仁屋 鹿児島 2-1 鶴丸
決勝 鹿商 2-0 鹿児島
 - ・女子 準決勝 鹿女子 2-0 実践 照国 2-1 出水
決勝 鹿女子 2-0 照国
- 県下中学校大会 (中体連) (8月2日 中央公園)
 - ・男子 準決勝 甲東中 2-0 谷山中 鹿屋中 2-0 永原中
決勝 甲東中 2-0 鹿屋中
 - ・女子 準決勝 鹿屋中 2-1 甲東中 武中 2-0 別府中
決勝 武中 2-1 鹿屋中
- 全日本教員男子選手権 (8月15~17日 丸亀市)
準々決勝 鹿児島市教員 2-1 金沢市教員 準決勝 鹿児島市教員 0-2 松江教員
- 国民体育大会予選 (8月30~31日, 11月7日 中央公園)
 - ・一般男子 リーグ戦 鹿市役所 2-0 県庁 甲南ク 2-0 鹿銀 県庁 2-0 鹿銀
鹿市役所 2-0 鹿銀 甲南クラブ 2-1 鹿市役所 県庁 2-1 甲南クラブ
優勝 鹿児島市役所
 - ・一般女子 決勝 山形屋 2 (21-14, 18-21, 21-10) 1 電々鹿児島
 - ・高校男子 準決勝 鹿高 2-0 鹿商B 鹿商A 2-0 鹿屋
決勝 鹿商A 2-1 鹿高
 - ・高校女子 準決勝 鹿女子A 2-0 玉竜 鹿女子B 2-0 鶴丸
決勝 鹿女子A 2-0 鹿女子B
- 県民体育大会 (9月20~22日 鴨池, 中央公園)
 - ・一般男子 準決勝 鹿児島市 2-0 川内市 枕崎市 2-0 鹿児島郡
決勝 鹿児島市 2-0 枕崎市
 - ・一般女子 決勝トーナメント
一回戦 鹿屋市 2-1 枕崎市
決勝 薩摩郡 2-0 鹿屋市
 - ・婦人会 リーグ戦 枕崎市 2-0 日置郡 大口市 2-0 日置郡 枕崎市 2-0 大口市
1位 枕崎市 2位 大口市 3位 日置郡
- 全日本総合女子選手権予選 (10月19日 中央公園)
準決勝 女子高B 2-1 電々公社 女子高A 2-0 照国 決勝 女子高A 2-0 女子高B

- 秋季県選手権大会（11月30日 中央公園）
 - ・男子Aクラス 準決勝 鹿商A 2－0 鶴丸高 鹿市教師団 2－1 市 庁 決勝 鹿商A 2－ 鹿市教師団
 - ・男子Bクラス 準決勝 鹿商B 2－0 鹿高B 照国商 2－1 鹿大B 決勝 鹿商B 2－0 照国商
 - ・女子 準決勝 鹿女高A 2－0 蒲生高 鹿女高A 2－0 鶴丸高 決勝 鹿女B 2－0 鹿女A
- 県選抜大会（12月21日 玉竜高校体育館）
 - ・男子 リーグ戦 大 学 2－0 高 校 教師団 2－0 一 般 高 校 2－0 一 般
教師団 2－1 大 学 高 校 2－0 教師団 大 学 2－0 一 般
1位 大学 2位 教師団 3位 一般（セット率による）

昭和34年

六人制の試合が始まっている。鹿児島市教師団が、全日本教員選手権で準優勝している。

- 全国都市対抗予選（3月8日 玉竜高校体育館）
 - ・男子 決勝 九州電力 2 (21-18, 20-22, 21-18) 1 鹿児島市庁
 - ・女子 電々公社 不戦勝
- 高校新人大会（4月19日 中央公園）
 - ・男子 準決勝 鹿商A 2－0 鹿 工 鹿 高 2－0 鶴 丸
決勝 鹿商A 2－0 鹿 高
 - ・女子 準決勝 鹿女子高A 2－0 谷山高
照国A 2－0 出 水
決勝 鹿女子高A 2－0 照国A
- バレーボール祭（5月5日 中央公園）
 - ・一般男子 準決勝 鹿児島市教師団 2－0 鹿大B 電話局(雨のためノーゲーム) 鹿大A
 - ・一般女子 決勝 鹿児島電話局 3 (21-11, 21-10, 21-16) 0 鹿大クラブ
 - ・高校男子 準決勝 鹿商A 2－0 鶴 丸 鹿 高 2－0 谷 山
決勝 (雨のため中止)
 - ・高校女子 準決勝 鹿女子A 2－0 吹 上
照国商A 2－0 鹿女子B
決勝 鹿女子A 2－1 照国商A
 - ・中学男子 一回戦 河頭中 2－0 城西中 甲東中 2－0 武 中
決勝 河頭中 2－0 甲東中
 - ・中学女子 準決勝 清水中 2－0 甲東中
今和泉中 2－0 武 中
決勝 清水中 2－0 今和泉中
- 第二回中学校大会（男子5月10日、女子5月24日 中央公園）
 - ・男子 準決勝 高 須 2－1 根 占 第一鹿屋 2－0 山川西
決勝 高 須 2－0 第一鹿屋
 - ・女子 準決勝 清 水 2－0 西大良
協 和 2－1 甲 東
決勝 清 水 2－0 協 和
- 全日本教員、実業団予選および六人制大会（6月7日 中央公園）
 - [九人制] ・実業団 一回戦 鹿児島市役所 2－1 西鹿児島工場 国分自衛隊 2－0 九州電力
決勝 鹿児島市役所 2－0 国分自衛隊

- ・教員 決勝 鹿児島市教師団 2-1 国分市教師団
- [六人制] ・男子 準決勝 鹿大A 2-0 鹿高 鹿児島市教師団 2-0 照国高
決勝 鹿大A 2-0 鹿児島市教師団
- ・女子 決勝 照国高A 2 (15-11, 17-15) 0 照国高B
- 九州高校予選 (6月29日 中央公園)
- ・男子 準決勝 鹿商 2-0 鹿屋 鹿児島 2-0 鹿工
決勝 鹿商 2-1 鹿児島
- ・女子 準決勝 鹿女子 2-0 川内商 照国 2-0 大村
決勝 照国 2-1 鹿女子
- 全日本高校予選 (7月19日 中央公園, 20日 玉竜高校, 照国高体育館)
- ・男子 準決勝 鹿高 2-0 鹿屋 鹿商 2-0 鹿実
決勝 鹿商 2-0 鹿児島
- ・女子 準決勝 照国 2-0 出水 鹿女子 2-0 伊集院
決勝 照国 2-1 鹿女子
- 全日本総合男子選手権予選 (8月2日 中央公園)
決勝トーナメント 準決勝 玉竜ク 2-0 鹿市教師団 決勝 玉竜クラブ 2-1 鹿高
- 県中学校大会 (8月4日 中央公園)
- ・男子 準決勝 武 2-0 菱刈 河頭 2-1 国分
決勝 河頭 2-1 武
- ・女子 準決勝 清水 2-0 市来 西太良 2-1 日置
決勝 清水 2-0 西太良
- 全日本教員選手権 (8月12~15日 兼六公園)
- [九人制] 三回戦 鹿児島教師団 2-0 熊谷市教師団 準々決勝 鹿児島教師団 2-1 松江教員
準決勝 鹿市教師団 2-0 新潟教員 決勝 鹿市教師団 0 (16-21, 22-24) 2 金沢教員
- [六人制] 準決勝 鹿市教師団 2-0 岐阜教員 決勝 鹿市教師団 0 (12-15, 1-15) 2 福岡教員
- 【鹿児島市教師団 九人制, 六人制ともに準優勝】**
- 国民体育大会予選 (9月6, 7, 13日 中央公園)
- ・一般男子 準決勝 鹿大クラブ 2-0 県庁 鹿市役所 2-0 県庁ク
決勝 鹿大クラブ 2-0 鹿市役所
- ・教職員 一回戦 鹿児島市 2-0 鹿屋市 川内市 2-1 国分市
決勝 鹿児島市 2-0 川内市
- ・一般女子 リーグ戦 山形屋 2-0 電々鹿児島 1位 県庁 2位 山形屋 3位 電々鹿児島
県庁 2-0 電々鹿児島 県庁 2-1 山形屋
- ・高校男子 決勝リーグ 鶴丸 2-0 鹿工 鹿商 2-0 鹿工 鹿高 2-0 鶴丸
鹿商 2-0 鶴丸 鹿商 2-0 鹿工 鹿商 2-0 鹿工
1位 鹿商 2位 鹿高 3位 鶴丸 4位 鹿工
- ・高校女子 準決勝 鹿女子 2-0 吹上 照国 2-0 大口
決勝 鹿女子 2-0 照国

◎ 国民体育大会南九州高校男子予選会（9月21日 鹿児島市中央公園）

予選リーグ Aパート 鹿 高2-0大分高 Bパート 鹿 商2-0日南高
 鹿 高2-0大淀高 鹿 商2-0中津東
 大分高2-0大淀高 中津東2-0日南高
 決 勝 鹿商2 (21-11, 19-21, 21-17) 1鹿高

○ 県民体育大会（9月26～27日 鴨池，中央公園）

- ・一般男子 準決勝 鹿児島市2-0国分市 曾於郡2-1西之表市
 決 勝 鹿児島市2-0曾於郡
- ・一般女子 準決勝 出水市2-0薩摩郡 鹿屋市2-1日置郡
 決 勝 出水市2-0鹿屋市
- ・婦人会 決勝リーグ戦 川内市2-0鹿屋市 大口市2-1鹿屋市 川内市2-0大口市
 1位 川内市 2位 大口市 3位 鹿屋市

○ 全日本女子総合選手権予選（10月18日 中央公園）

準決勝 照国商2-0鶴丸 実践2-0牧園 決勝 照国商2 (11-8, 21-18) 0実践

○ 県秋季総合選手権（11月8日 中央公園）

- ・男子Aクラス 準決勝 鹿商A2-0鹿大A 鹿市庁2-0鹿教師団 決勝 鹿商A2-0鹿市庁
- ・男子Bクラス 準決勝 鹿商B2-0甲 南 鹿高ク2-0谷 山 決勝 鹿商B2-0鹿高ク
- ・女子 準決勝 照国商A2-0実践 鹿子高A2-0照国商B
 決 勝 鹿女子高A2 (21-18, 21-13) 0照国商A

○ 県選抜大会（11月29日 中央公園）

- ・男子 リーグ戦 教師団2-0大学 高校2-1一般 一般2-1教師団
 高校2-1大学 高校2-1教師団 大学2-1一般
 1位 高校 2位 教師団 3位 一般 4位 大学
- ・女子 高校一，二年3 (19-21, 21-12, 21-18, 18-21, 21-13) 2高校三年

昭和35年

九州高校大会の男子で鹿商が優勝している。国民体育大会九州ブロックの代表権を鹿児島市教員と鹿児島女子高が得ている。

○ 都市対抗予選（3月6日 中央公園）

リーグ戦 九州電力2-0鹿児島クラブ 鹿児島クラブ2-0鹿児島市役所
 鹿児島市役所2-0九州電力 優勝 鹿児島市役所（得失点率による）

○ 高校新人大会（4月17日 中央公園）

- ・男子 準決勝 鹿 商2-0鹿 工 鹿 屋2-1鹿商工
 決 勝 鹿 商2-1鹿 屋
- ・女子 準決勝 照国商A2-0鹿女子B 鹿女子A2-0鹿女子C
 決 勝 鹿女子A2-0照国商A

- バレーボール祭 (5月5日 中央公園)
- ・一般男子 準決勝 鹿大ク2-0鹿大A 鹿大B2-0市庁 決勝 鹿大B2-0鹿大クラブ
 - ・高校男子 準決勝 鹿商A2-0鹿商工 鹿商B2-0鹿高 決勝 鹿商A2-0鹿商B
 - ・高校女子 準決勝 鹿女子A2-0実践 照国商A2-0鹿女子B 決勝 鹿女子A2-1照国商A
 - ・中学男子 準決勝 甲東2-0武 甲南2-0長田 決勝 甲東2-0甲南
 - ・中学女子 準決勝 清水2-0河頭A 城西A2-1武 決勝 清水2-1城西A
- 第三回県中学体育大会 (5月8日 中央公園)
- ・男子 準決勝 武2-0河頭 甲東2-0西太良 決勝 甲東2-0武
 - ・女子 準決勝 東市来2-1日置 清水2-0甲東 決勝 清水2-0東市来
- 全日本総合六人制大会予選 (6月5日 中央公園)
- ・男子 一回戦 鹿児島高2-0甲南クラブ 鹿児島大A2-0照国商高 決勝 鹿児島大A2(15-7, 15-12)0鹿児島高
 - ・女子 照国商高(不戦勝)
- 全国高校大会予選 (6月27, 28日 中央公園)
- ・男子 準決勝 鹿商2-1鹿商工 鹿高2-0鹿屋 決勝 鹿高2-1鹿商
 - ・女子 準決勝 鹿女子2-0大口 照国2-1実践 決勝 鹿女子2-0照国
- 九州高校大会予選 (7月21, 22日 中央公園)
- ・男子 準決勝 鹿児島2-0鹿工 鹿商2-0鹿屋 決勝 鹿商2-0鹿児島
 - ・女子 準決勝 鹿女子2-0実践 照国商2-1大口 決勝 鹿女子2-0照国商
- 第十一回中学校大会 (8月3, 4日 中央公園)
- ・男子 準決勝 甲東2-0谷山 吉利2-1鹿屋 決勝 甲東2-0吉利
 - ・女子 準決勝 清水2-1東市来 西太良2-1鶴田 決勝 清水2-1西太良
- 全日本教員選手権大会 (8月14日 島根大学体育館)
- ・六人制準決勝 鹿児島0(8-15, 12-15)2広島
- ◎ 九州高校大会 (8月21日 佐賀)
- ・男子 【優勝】 決勝戦 鹿商2-1熊本工業
- 国民体育大会予選 (9月4, 18日 中央公園)
- ・一般男子 準決勝 鹿大ク2-0県庁
 - ・一般女子 県庁(不戦勝)

鹿市庁 2 - 0 国分自衛隊

決勝 鹿大ク 2 - 0 鹿市庁

- ・教員 リーグ戦 鹿屋市 2 - 0 玉江小 国分市 2 - 1 鹿屋市 鹿児島市 2 - 0 国分市
鹿児島市(不戦勝)玉江小 1位 鹿児島市 2位 鹿屋市
- ・高校男子 準決勝 鹿商 2 - 0 古仁屋 鹿高 2 - 1 鹿屋
- ・高校女子 準決勝 鹿女子 2 - 0 大口 照国商 2 - 0 実践
- 決勝 鹿商 2 - 0 鹿高 決勝 鹿女子 2 - 0 照国商

◎ 国民体育大会九州地区予選（9月11日 佐賀市）

- ・教員 決勝 鹿児島市教員 2 (21-9, 21-13) 0 大分市教員
- ・高校女子 決勝 鹿児島女子高 2 (21-7, 21-14) 0 西福岡高

○ 県民体育大会（9月23～24日 鴨池，中央公園）

- ・一般男子 準決勝 鹿児島市 2 - 1 出水市 鹿屋市 2 - 1 曾於郡
- ・一般女子 準決勝 出水市 2 - 1 日置郡 薩摩郡 2 - 0 枕崎市
- 決勝 鹿児島市 2 - 0 鹿屋市 決勝 出水市 2 - 0 薩摩郡
- ・婦人会 準決勝 鹿屋市 2 - 1 日置郡 川内市 2 - 1 出水郡 決勝 川内市 2 - 0 鹿屋市

○ 全日本総合予選（11月6日 中央公園）

- ・男子 準決勝 鹿大ク 2 - 1 天保山ク 鹿大 2 - 0 鹿商工ク 決勝 鹿大ク 2 - 1 鹿大
- ・女子 決勝 照国商工 2 (19-21, 21-16, 21-11) 1 実践高

○ 県総合選手権大会（11月20日 中央公園）

- ・男子Aクラス リーグ戦 鹿商高A 2 - 0 鹿大クB 鹿大クA 2 - 0 鹿児島高
鹿児島高 2 - 1 鹿大クB 鹿商高A 2 - 0 鹿大クA 優勝 鹿商高A
- ・男子Bクラス 準決勝 鹿大 2 - 0 谷山校 玉竜高 2 - 0 鹿商工B
- ・女子 準決勝 鹿女子高A 2 - 0 垂水高 鹿女子高B 2 - 0 鹿女子高C
- 決勝 鹿大 2 - 1 玉竜高 決勝 鹿女子A 2 - 0 鹿女子高B

まとめ

昭和21年より昭和35年までの15年間を、事項、大会、成績、会場にまとめると次のようになる。

：事項

昭和21年6月にいち早くバレーボール協会を設立しているのは立派である。戦前の愛好者吉岡清氏、原田福吉氏、川野敏男氏等のよびかけによって設立されたとのことであるが、敬意を表するものである。

昭和25年には機関紙「バレーかごしま」を発刊しているが、一回だけに終わっているのは残念で

ある。

昭和29年には住友金属を招いて技術講習会を開催し指導・普及に努めている。昭和26年の国民体育大会予選決勝戦における高校男子トラブルの結果は、再試合は行われずスコア通り鶴丸の勝ちになったと麓川先生よりお聞きすることができた。なお、昭和21年の国民体育大会西部予選大会の男子中学の部に、県予選に出場していない鹿屋中学がなぜ出場できたかについては不明であった。

: 大会

- 全日本大会としては、全日本総合選手権を兼ねて、いち早く昭和21年に国民体育大会が開催されている。(昭和22年よりは別々に開催)昭和23年には、全日本高校選手権大会、昭和24年には全日本実業団選手権大会、昭和29年には全日本教員選手権大会が始まっている。
- ◎ 九州大会としては、昭和22年に南九州四県対抗(昭和25年まで)、昭和23年に全九州高校大会が始まっている。国民体育大会九州予選会は、九州ブロックで行われたり、南九州ブロックで行われたり浮動的である。
- 県内大会としては、全日本、九州大会の予選会の他に、昭和22年より県民体育大会(昭和26年までは兼国民体育大会予選会)が始まり、昭和29年には婦人会の部が入っている。昭和23年から県選手権大会(年によっては春、秋二回)、昭和24年からバレーボール祭(一般・高校・中学)、昭和27年から中学校大会(中体連主催)、昭和29年から中学・高校新人大会(中学昭和32年まで)、県選抜大会、昭和33年から中学校大会(バレー協会主催)、昭和34年から六人制大会が始まっている。

: 成績

- 全国大会では、昭和21年の第一回国民体育大会の女子中等学校の部で準優勝している。昭和22年には、国民体育大会男子中等学校の部で鹿屋中学が優勝、一般女子の部で、一高女チームの主力を受け入れた山形屋が3位になっている。また西日本女子中等学校大会では二高女が優勝している。翌昭和23年には、国民体育大会高校男子の部で準優勝している。このように華々しいスタートを切れたのは、戦前、戦後を通じてバレーボール協会皆の協力の賜物であろう。しかし、その後はいい成績を上げていない。低迷の中で、鹿児島市教師団が、全国教員大会で昭和33年、昭和35年に3位、昭和34年に準優勝しているのは立派である。
- ◎ 九州大会では、九州高校大会で昭和23年、昭和26年には男女とも優勝しており、その後昭和28年に鹿児島女子高、昭和30年、昭和35年には鹿児島商業高が優勝している。昭和30年に入って女子の優勝がない。
- 県内大会

- ・ 一般男子 昭和28年までは、中学・高校のOBのチーム、クラブチームが活躍しているが、昭和29年よりは鹿児島市庁、鹿児島大学、鹿児島大学クラブが活躍している。実業団では、西鹿児島工場の活躍が目立つ。
- ・ 一般女子 昭和28年までは山形屋が活躍しているが、以後鹿児島県庁、専売公社が活躍している。
- ・ 教員男子 鹿児島市教師団（昭和28年より昭和31年までは南雲クラブと呼称）の活躍が目立っている。
- ・ 高校男子 昭和26年までは鹿屋高校、昭和27年よりは鹿児島商業高校の時代といえるようである。この間、鶴丸高校、鹿児島工業高校、玉竜高校、鹿児島高校が優勝した大会もある。
- ・ 高校女子 昭和23年より鹿児島女子高校の活躍が目立っている。鶴丸高校、甲南高校、玉竜高校、照国高校の優勝した大会もあるが鹿児島市以外の高校の優勝はない。
- ・ 中学校 公式大会は10回になっていないが、男子甲東中、女子清水中を中心に鹿児島市市内の学校が優位を示している。

：会場

戦前・戦後を通じて、鴨池の陸上競技場や学校の会場であったが、昭和23年の11月に鹿児島市の厚意により、待望の鹿児島市中央公園にバレーボール専用コートが完成している。昭和29年には玉竜高等学校体育館、昭和31年には照国高等学校体育館が落成し、雨天時、冬季の大会開催を可能にしている。

おわりに

本稿を書くにあたりいろいろお話いただいた麓川利勝先生、上原 敬先生、伊藤さんの原稿をお届け頂いた岡山哲郎先生、志布志中学のメンバー方より原稿をお世話頂いた門川公雄先生に厚くお礼申し上げます。まだ、不明な点、記録のないところもありますが、今後も充実したバレーボール史を作成すべく努力いたす所存でございます。皆様のご協力をお願い申し上げます。

参 考 文 献

1. 南日本新聞 昭和21年～昭和35年12月
2. 運動年鑑 昭和21年～昭和25年 朝日新聞社編
3. 日本バレー協会五十年史 日本バレーボール協会五十年史編集委員会編集 1982
4. 創立80周年記念“紫雲20号”－鹿商総合誌－ 1974
5. 鹿児島県体育史 財団法人鹿児島県体育協会 1977 玉竜教育図書印刷
6. バレー鹿児島 創刊号 鹿児島県バレーボール協会 1960
7. “わが故郷” 鹿児島教師団バレーボールクラブ 牧田 文宏 1980
8. My Haikku in my life 伊藤 祐風 1976